

— 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。 —

## 電子添文改訂のお知らせ

2026年3月

ギリアド・サイエンシズ株式会社

抗ウイルス化学療法剤

**ビクトルビ<sup>®</sup>配合錠**

**ゲンボイヤ<sup>®</sup>配合錠**

この度、標記製品の電子添文を改訂いたしましたので、ご案内申し上げます。  
今後のご使用に際しましては、最新の電子添文並びに本書をご参照くださいますようお願い申し上げます。

### 1. 改訂の概要

＜ビクトルビ<sup>®</sup>配合錠・ゲンボイヤ<sup>®</sup>配合錠 共通＞

改訂項目	改訂内容
2. 禁忌 10.1 併用禁忌	通知*に基づき『アパルタミド』『エンザルタミド』を追記しました。

\*令和8年3月17日付 厚生労働省医薬局医薬安全対策課長通知

＜ゲンボイヤ<sup>®</sup>配合錠＞

改訂項目	改訂内容
2. 禁忌 10.1 併用禁忌 10.2 併用注意	通知*に基づき『エプレレノン』を10.1 併用禁忌に追記し、10.2 併用注意から削除しました。

\*令和8年3月17日付 厚生労働省医薬局医薬安全対策課長通知

全ての改訂内容は別添にて一覧としておりますのでご参照ください。

## 2. 改訂理由

### 厚生労働省医薬局医薬安全対策課長通知に基づく改訂

<ビクトルビ®配合錠・ゲンボイヤ®配合錠 共通>

「2.禁忌」 「10.1 併用禁忌」

アパルタミド・エンザルタミド

- アパルタミド及びエンザルタミドはいずれも CYP3A 誘導作用を有し、加えてアパルタミドについては P-gp 誘導作用を有することが知られております。本剤とこれらの薬剤を併用した場合、本剤の有効成分の血中濃度が低下し、本剤の効果減弱及び本剤に対する耐性が発現する可能性があることから、本剤との併用を禁忌としました。

<ゲンボイヤ®配合錠>

「2.禁忌」 「10.1 併用禁忌」 「10.2 併用注意」

エプレレノン



- 本剤に含まれるコビシスタットは CYP3A 阻害作用を有しており、本剤とエプレレノンを併用した場合、エプレレノンの血中濃度が上昇し、血清カリウム値の上昇を誘発する可能性があることから、本剤との併用を禁忌とし、併用注意から削除しました。

これらの改訂について、調査結果概要は PMDA ウェブサイト「使用上の注意の改訂指示通知（医薬品）2025 年度指示分」

（<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/calling-attention/revision-of-precautions/0374.html>）に掲載されております。

### 3. その他

- 最新の電子添文は医薬品医療機器総合機構ホームページ (<https://www.pmda.go.jp/>) にてご覧いただけます。添付文書閲覧アプリ「添文ナビ」を用いて、以下の GS1 バーコードを読み取ることで、同ホームページ上の最新の電子添文等をご覧いただけます。

ビクトルビ®配合錠	 (01)14987884000247
ゲンボイヤ®配合錠	 (01)14987884000346

- 本書及び最新の電子添文は弊社製品ホームページ (<https://www.g-station-plus.com/>) にてご覧いただけます。
- 本改訂内容は医薬品安全対策情報 (Drug Safety Update) No.344 号に掲載される予定です。

以上

## ギリアド・サイエンシズ株式会社

〒100-6616 東京都千代田区丸の内一丁目9番2号

グラントウキョウサウスタワー

メディカルサポートセンター

フリーダイヤル 0120-506-295

FAX 03-5958-2959

受付時間：9：00～17：30（土・日・祝日及び会社休日を除く）

別添 電子添文の改訂箇所と改訂理由

<ビクタルビ®配合錠>

改訂項目	改訂後（下線部_改訂箇所）	改訂前																		
2. 禁忌	<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1（略）</p> <p>2.2 次の薬剤を投与中の患者：リファンピシン、カルバマゼピン、フェノバルビタール、フェニトイン、ホスフェニトイン、<u>アパルタミド</u>、セイヨウオトギリソウ（セント・ジョーンズ・ワート）含有食品、<u>エンザルタミド</u> [10.1 参照]</p>	<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1（略）</p> <p>2.2 次の薬剤を投与中の患者：リファンピシン、カルバマゼピン、フェノバルビタール、フェニトイン、ホスフェニトイン、セイヨウオトギリソウ（セント・ジョーンズ・ワート）含有食品 [10.1 参照]</p>																		
10. 相互作用	<p>10. 相互作用</p> <p>（略）</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table border="1" data-bbox="439 762 1200 1430"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リファンピシン（リファジン） [2.2 参照]</td> <td>ビクテグラビルの血漿中濃度が低下するため、本剤の効果が減弱し、本剤に対する耐性が発現する可能性があることから、併用しないこと。また、テノホビルアラフェナミドの血漿中濃度も低下する可能性がある。</td> <td>リファンピシンの CYP3A、UGT1A1 及び P-gp の誘導作用によるため。</td> </tr> <tr> <td>カルバマゼピン（テグレート） フェノバルビタール（フェノバル） フェニトイン（アレビアチン） ホスフェニトイン（ホストイン） <u>アパルタミド</u></td> <td>ビクテグラビル及びテノホビルアラフェナミドの血漿中濃度が低下するため、本剤の効果が減弱し、本剤に対する耐性が発現する可能性がある。</td> <td>これらの薬剤の CYP3A 及び P-gp の誘導作用によるため。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	リファンピシン（リファジン） [2.2 参照]	ビクテグラビルの血漿中濃度が低下するため、本剤の効果が減弱し、本剤に対する耐性が発現する可能性があることから、併用しないこと。また、テノホビルアラフェナミドの血漿中濃度も低下する可能性がある。	リファンピシンの CYP3A、UGT1A1 及び P-gp の誘導作用によるため。	カルバマゼピン（テグレート） フェノバルビタール（フェノバル） フェニトイン（アレビアチン） ホスフェニトイン（ホストイン） <u>アパルタミド</u>	ビクテグラビル及びテノホビルアラフェナミドの血漿中濃度が低下するため、本剤の効果が減弱し、本剤に対する耐性が発現する可能性がある。	これらの薬剤の CYP3A 及び P-gp の誘導作用によるため。	<p>10. 相互作用</p> <p>（略）</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table border="1" data-bbox="1227 762 1968 1430"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リファンピシン（リファジン） [2.2 参照]</td> <td>ビクテグラビルの血漿中濃度が低下するため、本剤の効果が減弱し、本剤に対する耐性が発現する可能性があることから、併用しないこと。また、テノホビルアラフェナミドの血漿中濃度も低下する可能性がある。</td> <td>リファンピシンの CYP3A、UGT1A1 及び P-gp の誘導作用によるため。</td> </tr> <tr> <td>カルバマゼピン（テグレート） フェノバルビタール（フェノバル） フェニトイン（アレビアチン） ホスフェニトイン（ホストイン） セイヨウオトギリソウ</td> <td>ビクテグラビル及びテノホビルアラフェナミドの血漿中濃度が低下するため、本剤の効果が減弱し、本剤に対する耐性が発現する可能性がある。</td> <td>これらの薬剤の CYP3A 及び P-gp の誘導作用によるため。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	リファンピシン（リファジン） [2.2 参照]	ビクテグラビルの血漿中濃度が低下するため、本剤の効果が減弱し、本剤に対する耐性が発現する可能性があることから、併用しないこと。また、テノホビルアラフェナミドの血漿中濃度も低下する可能性がある。	リファンピシンの CYP3A、UGT1A1 及び P-gp の誘導作用によるため。	カルバマゼピン（テグレート） フェノバルビタール（フェノバル） フェニトイン（アレビアチン） ホスフェニトイン（ホストイン） セイヨウオトギリソウ	ビクテグラビル及びテノホビルアラフェナミドの血漿中濃度が低下するため、本剤の効果が減弱し、本剤に対する耐性が発現する可能性がある。	これらの薬剤の CYP3A 及び P-gp の誘導作用によるため。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																		
リファンピシン（リファジン） [2.2 参照]	ビクテグラビルの血漿中濃度が低下するため、本剤の効果が減弱し、本剤に対する耐性が発現する可能性があることから、併用しないこと。また、テノホビルアラフェナミドの血漿中濃度も低下する可能性がある。	リファンピシンの CYP3A、UGT1A1 及び P-gp の誘導作用によるため。																		
カルバマゼピン（テグレート） フェノバルビタール（フェノバル） フェニトイン（アレビアチン） ホスフェニトイン（ホストイン） <u>アパルタミド</u>	ビクテグラビル及びテノホビルアラフェナミドの血漿中濃度が低下するため、本剤の効果が減弱し、本剤に対する耐性が発現する可能性がある。	これらの薬剤の CYP3A 及び P-gp の誘導作用によるため。																		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																		
リファンピシン（リファジン） [2.2 参照]	ビクテグラビルの血漿中濃度が低下するため、本剤の効果が減弱し、本剤に対する耐性が発現する可能性があることから、併用しないこと。また、テノホビルアラフェナミドの血漿中濃度も低下する可能性がある。	リファンピシンの CYP3A、UGT1A1 及び P-gp の誘導作用によるため。																		
カルバマゼピン（テグレート） フェノバルビタール（フェノバル） フェニトイン（アレビアチン） ホスフェニトイン（ホストイン） セイヨウオトギリソウ	ビクテグラビル及びテノホビルアラフェナミドの血漿中濃度が低下するため、本剤の効果が減弱し、本剤に対する耐性が発現する可能性がある。	これらの薬剤の CYP3A 及び P-gp の誘導作用によるため。																		

改訂項目	改訂後（下線部_改訂箇所）		改訂前	
	<u>(アーリーダ)</u> セイヨウオトギリソウ (セント・ジョーンズ・ワート) 含有食品 [2.2 参照]			ウ (セント・ジョーンズ・ワート) 含有食品 [2.2 参照]
	<u>エンザルタミド</u> <u>(イクスタンジ)</u> [2.2 参照]	<u>ピクテグラビルの血漿中濃度が低下するため、本剤の効果が減弱し、本剤に対する耐性が発現する可能性がある。</u>	<u>エンザルタミドのCYP3A 誘導作用によるため。</u>	

<ゲンボイヤ®配合錠>

改訂項目	改訂後（下線部_改訂箇所）	改訂前（下線部_削除箇所）
2. 禁忌	2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1（略） 2.2 次の薬剤を投与中の患者：カルバマゼピン，フェノバルビタール，フェニトイン，ホスフェニトイン，リファンピシン， <u>アパルタミド</u> ，セイヨウオトギリソウ（St. John' s Wort：セント・ジョーンズ・ワート）含有食品， <u>エンザルタミド</u> ，ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩，エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン，エルゴメトリンマレイン酸塩，メチルエルゴメトリンマレイン酸塩，アスナプレビル，シンバスタチン，ピモジド，シルデナフィルクエン酸塩（レバチオ），バルデナフィル塩酸塩水和物，タダラフィル（アドシルカ），プロナンセリン，アゼルニジピン，リバーロキサバン，トリアゾラム，ミダゾラム，ロミタピドメシル酸塩， <u>エプレレノン</u> ，テラプレビル [10.1 参照] 2.3（略）	2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1（略） 2.2 次の薬剤を投与中の患者：カルバマゼピン，フェノバルビタール，フェニトイン，ホスフェニトイン，リファンピシン，セイヨウオトギリソウ（St. John' s Wort：セント・ジョーンズ・ワート）含有食品，ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩，エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン，エルゴメトリンマレイン酸塩，メチルエルゴメトリンマレイン酸塩，アスナプレビル，シンバスタチン，ピモジド，シルデナフィルクエン酸塩（レバチオ），バルデナフィル塩酸塩水和物，タダラフィル（アドシルカ），プロナンセリン，アゼルニジピン，リバーロキサバン，トリアゾラム，ミダゾラム，ロミタピドメシル酸塩，テラプレビル [10.1 参照] 2.3（略）

改訂項目	改訂後（下線部_改訂箇所）	改訂前（下線部_削除箇所）																																				
10. 相互作用	<p>10. 相互作用 (略)</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table border="1" data-bbox="443 339 1200 1401"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カルバマゼピン (テグレトール) フェノバルビタール (フェノバル) フェニトイン (アレピアチン) ホスフェニトイン (ホストイン) リファンピシン (リファジン) <u>アパルタミド</u> (<u>アーリーダ</u>) セイヨウオトギリソウ (<u>St. John' s Wort : セント・ジョーンズ・ワート</u>) 含有食品 [2.2 参照]</td> <td>エルビテグラビル及びコビシスタットの血中濃度が著しく低下する可能性がある。また、テノホビルアラフェナミドの血中濃度が低下する可能性がある。</td> <td>これら薬剤のCYP3A 及び P-gp の誘導作用によるため。</td> </tr> <tr> <td><u>エンザルタミド</u> (<u>イクスタンジ</u>) [2.2 参照]</td> <td><u>エルビテグラビル及びコビシスタットの血中濃度が著しく低下する可能性がある。</u></td> <td><u>エンザルタミドの CYP3A 誘導作用によるため。</u></td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> <tr> <td>ロミタピドメシル酸塩 (ジャクスタピッド) [2.2 参照]</td> <td>ロミタピドの血中濃度が著しく上昇する可能性がある。</td> <td>コビシスタットの CYP3A 阻害作用によるため。</td> </tr> <tr> <td><u>エプレレノン</u> (<u>セララ</u>) [2.2 参照]</td> <td><u>エプレレノンの血中濃度が上昇し、血清カリウム値の上昇を誘発する可能性がある。</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	カルバマゼピン (テグレトール) フェノバルビタール (フェノバル) フェニトイン (アレピアチン) ホスフェニトイン (ホストイン) リファンピシン (リファジン) <u>アパルタミド</u> ( <u>アーリーダ</u> ) セイヨウオトギリソウ ( <u>St. John' s Wort : セント・ジョーンズ・ワート</u> ) 含有食品 [2.2 参照]	エルビテグラビル及びコビシスタットの血中濃度が著しく低下する可能性がある。また、テノホビルアラフェナミドの血中濃度が低下する可能性がある。	これら薬剤のCYP3A 及び P-gp の誘導作用によるため。	<u>エンザルタミド</u> ( <u>イクスタンジ</u> ) [2.2 参照]	<u>エルビテグラビル及びコビシスタットの血中濃度が著しく低下する可能性がある。</u>	<u>エンザルタミドの CYP3A 誘導作用によるため。</u>	(略)	(略)	(略)	ロミタピドメシル酸塩 (ジャクスタピッド) [2.2 参照]	ロミタピドの血中濃度が著しく上昇する可能性がある。	コビシスタットの CYP3A 阻害作用によるため。	<u>エプレレノン</u> ( <u>セララ</u> ) [2.2 参照]	<u>エプレレノンの血中濃度が上昇し、血清カリウム値の上昇を誘発する可能性がある。</u>		(略)	(略)	(略)	<p>10. 相互作用 (略)</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table border="1" data-bbox="1234 339 1968 1302"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カルバマゼピン (テグレトール) フェノバルビタール (フェノバル) フェニトイン (アレピアチン) ホスフェニトイン (ホストイン) リファンピシン (リファジン) セイヨウオトギリソウ (<u>St. John' s Wort : セント・ジョーンズ・ワート</u>) 含有食品 [2.2 参照]</td> <td>エルビテグラビル及びコビシスタットの血中濃度が著しく低下する可能性がある。また、テノホビルアラフェナミドの血中濃度が低下する可能性がある。</td> <td>これら薬剤のCYP3A 及び P-gp の誘導作用によるため。</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> <tr> <td>ロミタピドメシル酸塩 (ジャクスタピッド) [2.2 参照]</td> <td>ロミタピドの血中濃度が著しく上昇する可能性がある。</td> <td>コビシスタットの CYP3A 阻害作用によるため。</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	カルバマゼピン (テグレトール) フェノバルビタール (フェノバル) フェニトイン (アレピアチン) ホスフェニトイン (ホストイン) リファンピシン (リファジン) セイヨウオトギリソウ ( <u>St. John' s Wort : セント・ジョーンズ・ワート</u> ) 含有食品 [2.2 参照]	エルビテグラビル及びコビシスタットの血中濃度が著しく低下する可能性がある。また、テノホビルアラフェナミドの血中濃度が低下する可能性がある。	これら薬剤のCYP3A 及び P-gp の誘導作用によるため。	(略)	(略)	(略)	ロミタピドメシル酸塩 (ジャクスタピッド) [2.2 参照]	ロミタピドの血中濃度が著しく上昇する可能性がある。	コビシスタットの CYP3A 阻害作用によるため。	(略)	(略)	(略)
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																																				
カルバマゼピン (テグレトール) フェノバルビタール (フェノバル) フェニトイン (アレピアチン) ホスフェニトイン (ホストイン) リファンピシン (リファジン) <u>アパルタミド</u> ( <u>アーリーダ</u> ) セイヨウオトギリソウ ( <u>St. John' s Wort : セント・ジョーンズ・ワート</u> ) 含有食品 [2.2 参照]	エルビテグラビル及びコビシスタットの血中濃度が著しく低下する可能性がある。また、テノホビルアラフェナミドの血中濃度が低下する可能性がある。	これら薬剤のCYP3A 及び P-gp の誘導作用によるため。																																				
<u>エンザルタミド</u> ( <u>イクスタンジ</u> ) [2.2 参照]	<u>エルビテグラビル及びコビシスタットの血中濃度が著しく低下する可能性がある。</u>	<u>エンザルタミドの CYP3A 誘導作用によるため。</u>																																				
(略)	(略)	(略)																																				
ロミタピドメシル酸塩 (ジャクスタピッド) [2.2 参照]	ロミタピドの血中濃度が著しく上昇する可能性がある。	コビシスタットの CYP3A 阻害作用によるため。																																				
<u>エプレレノン</u> ( <u>セララ</u> ) [2.2 参照]	<u>エプレレノンの血中濃度が上昇し、血清カリウム値の上昇を誘発する可能性がある。</u>																																					
(略)	(略)	(略)																																				
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																																				
カルバマゼピン (テグレトール) フェノバルビタール (フェノバル) フェニトイン (アレピアチン) ホスフェニトイン (ホストイン) リファンピシン (リファジン) セイヨウオトギリソウ ( <u>St. John' s Wort : セント・ジョーンズ・ワート</u> ) 含有食品 [2.2 参照]	エルビテグラビル及びコビシスタットの血中濃度が著しく低下する可能性がある。また、テノホビルアラフェナミドの血中濃度が低下する可能性がある。	これら薬剤のCYP3A 及び P-gp の誘導作用によるため。																																				
(略)	(略)	(略)																																				
ロミタピドメシル酸塩 (ジャクスタピッド) [2.2 参照]	ロミタピドの血中濃度が著しく上昇する可能性がある。	コビシスタットの CYP3A 阻害作用によるため。																																				
(略)	(略)	(略)																																				

改訂項目	改訂後（下線部_改訂箇所）	改訂前（下線部_削除箇所）																								
	<p>10.2 併用注意（併用に注意すること）</p> <table border="1" data-bbox="439 268 1162 730"> <thead> <tr> <th data-bbox="439 268 712 308">薬剤名等</th> <th data-bbox="716 268 949 308">臨床症状・措置方法</th> <th data-bbox="954 268 1162 308">機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="439 311 712 347">(略)</td> <td data-bbox="716 311 949 347">(略)</td> <td data-bbox="954 311 1162 347">(略)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="439 351 712 687">           ダサチニブ水和物            ラパチニブトシル酸塩            水和物            エベロリムス            ブデソニド            トルバプタン            エレトリプタン臭化水            素酸塩            クエチアピソフマル酸            塩         </td> <td data-bbox="716 351 949 687">           これら薬剤の血中濃            度が上昇する可能性            がある。         </td> <td data-bbox="954 351 1162 687">           コビシスタットの            CYP3A 阻害作用            によるため。         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="439 691 712 727">(略)</td> <td data-bbox="716 691 949 727">(略)</td> <td data-bbox="954 691 1162 727">(略)</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	(略)	(略)	(略)	ダサチニブ水和物 ラパチニブトシル酸塩 水和物 エベロリムス ブデソニド トルバプタン エレトリプタン臭化水 素酸塩 クエチアピソフマル酸 塩	これら薬剤の血中濃 度が上昇する可能性 がある。	コビシスタットの CYP3A 阻害作用 によるため。	(略)	(略)	(略)	<p>10.2 併用注意（併用に注意すること）</p> <table border="1" data-bbox="1227 268 1951 730"> <thead> <tr> <th data-bbox="1227 268 1478 308">薬剤名等</th> <th data-bbox="1482 268 1715 308">臨床症状・措置方法</th> <th data-bbox="1720 268 1951 308">機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1227 311 1478 347">(略)</td> <td data-bbox="1482 311 1715 347">(略)</td> <td data-bbox="1720 311 1951 347">(略)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1227 351 1478 687">           ダサチニブ水和物            ラパチニブトシル酸塩            水和物            エベロリムス            ブデソニド  <del>エプレレノン</del>            トルバプタン            エレトリプタン臭化水            素酸塩            クエチアピソフマル酸            塩         </td> <td data-bbox="1482 351 1715 687">           これら薬剤の血中濃            度が上昇する可能性            がある。         </td> <td data-bbox="1720 351 1951 687">           コビシスタットの            CYP3A 阻害作用に            によるため。         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1227 691 1478 727">(略)</td> <td data-bbox="1482 691 1715 727">(略)</td> <td data-bbox="1720 691 1951 727">(略)</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	(略)	(略)	(略)	ダサチニブ水和物 ラパチニブトシル酸塩 水和物 エベロリムス ブデソニド <del>エプレレノン</del> トルバプタン エレトリプタン臭化水 素酸塩 クエチアピソフマル酸 塩	これら薬剤の血中濃 度が上昇する可能性 がある。	コビシスタットの CYP3A 阻害作用に によるため。	(略)	(略)	(略)
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																								
(略)	(略)	(略)																								
ダサチニブ水和物 ラパチニブトシル酸塩 水和物 エベロリムス ブデソニド トルバプタン エレトリプタン臭化水 素酸塩 クエチアピソフマル酸 塩	これら薬剤の血中濃 度が上昇する可能性 がある。	コビシスタットの CYP3A 阻害作用 によるため。																								
(略)	(略)	(略)																								
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																								
(略)	(略)	(略)																								
ダサチニブ水和物 ラパチニブトシル酸塩 水和物 エベロリムス ブデソニド <del>エプレレノン</del> トルバプタン エレトリプタン臭化水 素酸塩 クエチアピソフマル酸 塩	これら薬剤の血中濃 度が上昇する可能性 がある。	コビシスタットの CYP3A 阻害作用に によるため。																								
(略)	(略)	(略)																								

以上